

- ・ 図表は「1」に記したように、文書に貼り込んでいただいても構いませんが、文章ファイルとは別に、Excelファイルをご提出ください。文章への貼り込みの如何に関わらず、図表の挿入を希望する場所を、原稿に赤字でご指定ください。

ただし、図表の挿入場所は、印刷レイアウトの段階で技術的な制約のために、ご希望通りとならない場合が多く、校正の際に場所の変更を希望しても、そうならない場合がほとんどです。あらかじめご了解ください。

4. 注・引用、参考文献の記述

- ・ 注は「脚注」とし、そこでの文献名は「略記」の形をとります。つまり、注における文献の記述は、「執筆者名（年， ページ）」もしくは「(執筆者， 年， ページ)」となります。ただし、本文中に文献名を記述していただくこともできます。
- ・ 参考文献は、論文末に一括掲載してください。文献の表記は、上記の注との関連から、次のように出版年を先に記述してください。

- (例) 和文書籍：○○○○ (19XX) 『書名』 出版社。
和文論文：○○○○ (20XX) 「論文名」『雑誌名』 巻号， pp.XX-XX。
欧文書籍：Xxxx, X. (19XX) Xxxx Xxxx Xxxx, City: Publisher.
欧文論文：Xxxx, X. (20XX) “Xxxx Xxxx Xxxx,” Xxxx Xxxx Journal,
Vol.XX, No.X, pp.XX-XX.

以 上